

新型コロナ

県「感染警報」2週間延長

新規系統数高止まり

新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることから、県は十三日、十五日までとしていた真独自の「感染拡大警報」を二十九日まで延長すると発表した。十三日は三百五十七人の感染が判明し、感染者が三百人を超えるのは四日連続となった。県は会話時のマスク着用や、体調に変化を感じた時は早期受診するよう呼びかけている。薬局などで実施している無料検査も二十九日まで延長する。■**新型コロナ関連⑨⑩面**

県によると、十三日の感染者のうち、新規系統は四十二系統。大型連休以降、新規系統数が高止まりしていることなどから警報の延長を決めた。一方、病床占

有率は15・4%と高くないことから、特別警報への引き上げは見送った。県内の感染者の多くは若者で、四十代以下が82・4%を占める。感染経路別で

は十一、十二の両日で「家族」が41・9%と最も多く、次いで「学校・保育園」が18・4%だった。大型連休で県外との往来が増えたため、「県外」は10・

8%となり、四月十日の6・9%から増加した。

オミクロン株の派生型で感染力が強いとされる「BA・2」への置き換わりも進んでいる。四月二十七日～五月三日に五十八系統を解析した結果、87・9%に当たる五十一系統でBA・2の陽性が確認された。来週には九割を超えるとみられる。

県健康福祉部の池上栄志

感染対策監は「パーペキュ一中など、どうしても気が緩むことがある。こころない、うしろないを意識して生活してほしい」と注意を促した。

福井県独自の感染評価指標		現状 (5月6日)	レベル			
			レベル1 注意報	レベル2 警報	レベル3 緊急事態	
医療体制	確保病床数(441床)の占有率	15.4% (68床)	20%程度 (85~95床)	30%程度 (130~140床)	40%程度 (170~180床)	50%以上 (221床)
	うちICU確保病床数(24床)の占有率	0.0% (0床)	20%程度 (5床)	30%程度 (7床)	40%程度 (10床)	50%以上 (12床)
感染状況	直近1週間の新規感染者数(人口10万人当たり)	2175人 (283.2人)	おおむね70~80人 (10人)	おおむね110~120人 (15人)	おおむね150~160人 (20人)	192人以上 (25人)